



植物 *Plants*

弥栄ダム周辺には、多様な植物が生育しています。

平地や山地に生育する常緑や落葉の樹木、樹林や林縁部に生育する草本類やシダ類、湿った場所に生育するコケ類や草本類、開けた場所に生育する草本など、それぞれの環境に適した種がみられます。春から夏には新緑、秋には紅葉、春から秋にかけての花期には美しい花を観察することもできます。

ここでは、弥栄ダム周辺でみられる代表的な43種を紹介します。

ゼンマイ *Osmunda japonica*



- **分類**
シダ植物門薄のうシダ綱ゼンマイ科
- **生活型**
多年生シダ植物、夏緑性（冬に葉が枯れる）
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは50～100cm。
シダ植物の一種で、若芽には淡い赤茶色の毛が生えます。つぶ状の胞子のうをつける繁殖のための「胞子葉」と、光合成のための「栄養葉」の2種類の葉があります。
くるりと巻いた若葉が古いお金（銭）に似ていることから、「銭巻（ゼニマキ）」→「ゼンマイ」の名がつけられました。
代表的な山菜で、おもに新芽を食用にします。

生 育 場 所

道端や林縁、溪流沿いの岩場など、湿ったところに生育します。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

胞子葉に胞子のうをつけ、成熟すると胞子をばらまいて繁殖します。
胞子のうは4月下旬～5月中旬にみられます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
胞子													-
観察時期													湿り気のある道端、林縁など

シシガシラ *Struthiopteris niponica*



- **分類**
シダ植物門薄のうシダ綱シシガシラ科
- **生活型**
多年生シダ植物、常緑性
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは25～30cm。

シダ植物の一種で、つぶ状の胞子のうをつける繁殖のための「胞子葉」と、光合成のための「栄養葉」の2種類の葉があります。

広がった葉を獅子のたてがみに見立て、「シシ（獅子）」ガシラの名がつけられました。

生 育 場 所

低地から山地のやや乾いた林床や林縁に生育します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

胞子葉に胞子のうをつけ、成熟すると胞子をばらまいて繁殖します。

胞子のうは7月～9月にみられます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
胞子													-
観察時期													やや乾いた林床、道端など

リョウメンシダ *Arachniodes standishii*



- **分類**
シダ植物門薄のうシダ綱オシダ科
- **生活型**
多年生シダ植物、夏緑性（冬に葉が枯れる）
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは80～100cm。
葉は羽状で、細かい切れ込みがあります。あざやかな緑色で、毛はありません。
葉が表、裏とも色や光沢が似て、同じように見えることから、「リョウメン（両面）」シダの名がつけられました。

生 育 場 所

山地の溪流沿いにある自然林や、スギ植林地に群生します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺で見られます。

繁 殖

葉の裏面に胞子のうをつけ、成熟すると胞子をばらまいて繁殖します。
胞子のうは11月～3月にみられます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
胞子													-
観察時期													山地の溪流沿いにある自然林、スギ植林

アカマツ *Pinus densiflora*



- **分類**
裸子植物門マツ綱マツ科
- **生活型**
常緑針葉高木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは10～20m。よく育った成木は高さ30mにもなります。
樹皮は赤みを帯び、亀の甲羅状にひび割れてはがれやすい形状です。葉は長い針状で、2本が対になっています。
アカマツの球果（マツやスギなどの果実）は松かさや松ぼっくりなどと呼ばれます。
名前は、樹皮が赤い色をしていることからつけられました。

生 育 場 所

乾燥地ややせた土地、岩山などに多く生育します。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は4～5月。
新しい枝の基部に花粉をつける雄花（おばな）が多数つき、先端に紫色の雌花（めばな）が2～3個つきます。
球果は翌年の秋に熟します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													乾燥地ややせた土地、岩山、二次林

スギ *Cryptomeria japonica*



- **分類**
裸子植物門マツ綱スギ科
- **生活型**
常緑針葉高木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは15～20m。よく育った成木は高さ30mにもなります。
樹形は細い円すい形で、幹がまっすぐに伸びます。樹皮は茶色～赤茶色で、表面の皮は縦にはがれます。葉は小さな針状で、枝にらせん状に並びます。
成長が早く、建築材として優れ、古くから各地で植林が行われています。ヒノキに比べ水分を好むため、谷沿いによく植えられます。

生 育 場 所

山地の沢沿いなどによく植林され、神社や寺には大木があります。また庭園や公園、学校などにも植えられます。なお、弥栄ダム周辺には自生のスギはありません。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は3～4月。
雄花（おばな）は枝先に多数つき、花粉症の原因となる花粉を大量に飛ばします。雌花（めばな）は緑色の小さい球形で、枝先につきます。
実は2cmほどの球形で10～11月に熟します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山地の沢沿い（自生地無し）、 植林地、神社、公園など

ヒノキ *Chamaecyparis obtusa*



- **分類**
裸子植物門マツ綱ヒノキ科
- **生活型**
常緑針葉高木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは15～20m。よく育った成木は高さ30mにもなります。
樹形は円すい形で、先端がやや丸くなります。樹皮は茶色で、表面の皮は縦にはがれます。枝はやや垂れ下がってついでおり、葉はウロコ状に密着し、裏面には白いY字型の気孔がみえます。
スギと同様、古くから建築材として利用されてきました。
名前は「火の木」の意味で、枝をこすり合わせて火をおこしたことに由来します。

生 育 場 所

山の尾根や山腹など、乾いた場所によく植えられます。神社や寺には大木があります。なお、弥栄ダム周辺には自生のヒノキはありません。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は4月。
雄花（おばな）はだ円形で枝先に多くつき、花粉を飛ばします。雌花（めばな）は球形で枝先につきますが、小さくて目立ちません。
実は1cmほどの球形で10～11月に熟します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													尾根や山腹など乾いた場所（自生地無し）、植林地、神社など

クリ *Castanea crenata*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱ブナ科
- **生活型**
落葉広葉高木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

よく育った成木の高さは15～20m。
幹はまっすぐに伸び、樹皮は淡いこげ茶色で、縦に大きな裂け目ができます。葉は長い円形で、表面にはつやがあり、縁の切れ込みの先は針のようにとがります。葉の裏面には小さく赤い点があります。
長いトゲのあるイガに包まれたクリの実は、縄文時代の遺跡からも殻が見つかるほど、古くから貴重な山の幸として親しまれています。

生 育 場 所

アカマツ林やコナラ林に多く生育します。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は6～7月。
雄花（おばな）はクリーム色を帯びた白色の穂の形になります。香りが強く、昆虫がたくさん集まります。
イガに包まれた実は9～10月に落下します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													アカマツ林、落葉広葉樹林

アラカシ *Quercus glauca*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱ブナ科
- **生活型**
常緑広葉高木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは10～20m。よく育った成木は高さ30mにもなります。
樹皮は濃い灰色で、大きな割れ目がなく、ごつごつしています。葉は長さ約10cm。長いだ円形で、先端は鋭くとがり、上半分の縁には粗いギザギザがあり、裏面は白っぽい色をしています。常緑樹で、新芽が出る春先に落葉します。
名前は、「枝や葉が固く粗いカシの木」という意味でつけられました。

生 育 場 所

河岸の岩の出た急斜面に多く生育します。神社に多く、アカマツ林にもよく混じっています。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は4～5月。
枝から黄色い花が穂のようになって垂れ下がります。穂のようになるのは雄花（おばな）で、雌花（めばな）は別の枝に小さくつきます。
秋に茶色に熟す実（ドングリ）は、輪状の模様が並んだ殻についています。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													温暖な地域の溪谷から山の斜面、神社、公園など

コナラ *Quercus serrata*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱ブナ科

■ 生活型

落葉広葉高木

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは10～20m。よく育った成木は高さ30mにもなります。
樹皮は白っぽく、縦に裂けた割れ目は黒っぽいいため、白黒のしま模様に見ることがあります。葉は先が広い円形で、縁に波状の切れ込みがあります。葉の裏面に短い毛が生えています。
かつては薪や炭として使われてきましたが、現在はシイタケ栽培の原木としてよく利用されています。

生 育 場 所

人里近くのアカマツ林や二次林に多く生育する、最もなじみ深い木のひとつです。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は4月～5月。
黄色で穂のように垂れ下がった雄花（おばな）がつきます。雌花（めばな）は別の短い枝につきます。
秋に茶色に熟す実（ドングリ）は、ウロコ状の浅い殻についています。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													人里近くの二次林

ヤナギタデ *Persicaria hydropiper*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱タデ科
- **生活型**
一年生草本
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは40～60cm。
茎はまっすぐに伸びて、ところどころ曲がり、節は赤くふくらんでいます。葉は長さは5～10cm、幅は1～2cmと細長く、両面には粘液を分泌する点が多数あります。秋には河原で美しく紅葉する姿が目立ちます。
名前は葉の形がヤナギの木の葉に似ていることからつけられました。
葉を噛むと辛味があり、刺身のツマに使われるほか、鮎の塩焼きに使う「たで酢」の原料になります。

生 育 場 所

河原や溝、湿地化した放棄水田に生育します。出水時に水をかぶる、河川敷の不安定なところにしばしば群生します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は6～9月。
淡い紅色の小さな花が多数集まり、穂の形になっています。
実は円形。黒みを帯びた茶色で光沢はなく、両面が凸レンズ状にふくらんでいます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													河原や溝など、水をかぶる不安定なところ

ミゾソバ *Persicaria thunbergii*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱タデ科

■ 生活型

一年生草本

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは30～80cm程度まで。

葉は長さ4～8cmの三角形で、両面にトゲ状の毛があります。茎は地上を横にはって節から根を出します。茎にもまばらに下向きのトゲがあり、赤味を帯びています。

溝や水路に生育し、見た目がソバの草姿に似ていることから、この名前がつけられました。

生 育 場 所

溝や水路、水田の畦、湿地化した放棄水田などに群生します。

弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は7～10月。

枝先に小さな花が10個ほどが集まって咲きます。花びらのように見える部分は実はがく片で、上部は薄紅色、下部は白色をしています。花の柄には毛が生えており、やや粘つきます。

実は長さは3～4mm、黄色のだ円形です。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													溝や水路、畦、放棄水田

ミツバアケビ *Akebia trifoliata*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱アケビ科

■ 生活型

落葉つる性木本

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

つる植物で、他の木に巻きついて生育しています。
葉は卵形で、縁には波状の大きな切れ込みがあります。
ミツバアケビのつるはカゴなどの細工の材料、タネの周りのゼリー状果肉は甘く、果実は食用として古くから利用されています。
「ミツバ」は葉が3枚1組であること、「アケビ」は果実が熟すとぱっくり開くこと（開け実）が名前の由来です。

生 育 場 所

山地の林縁や明るい林内に生育します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は4～5月。
葉の脇から花の茎を垂らし、その先端に赤紫色の小さな雄花（おばな）が多数、元の方に大きな雌花（めばな）が数個がつきます。
実は長いだ円形で、10月頃に紫色に熟してタテに裂けます。中には果肉に包まれた種子があります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山地の林縁や明るい林内、道端

ヤブツバキ *Camellia japonica*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱ツバキ科

■ 生活型

常緑広葉小高木

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは5～6m。

樹皮は灰色っぽく細かいしわがあります。葉はだ円形で長さ5～10cm、幅3～6cm、先は鋭くとがっています。葉には厚みがあり、表面は深緑色で光沢があります。

ヤブツバキは一般には椿（ツバキ）と呼ばれ、現在ではたくさんの園芸品種がつくられています。

生 育 場 所

海岸近くから山地までの常緑広葉樹林に生育します。また神社にも多くみられます。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は2～4月。

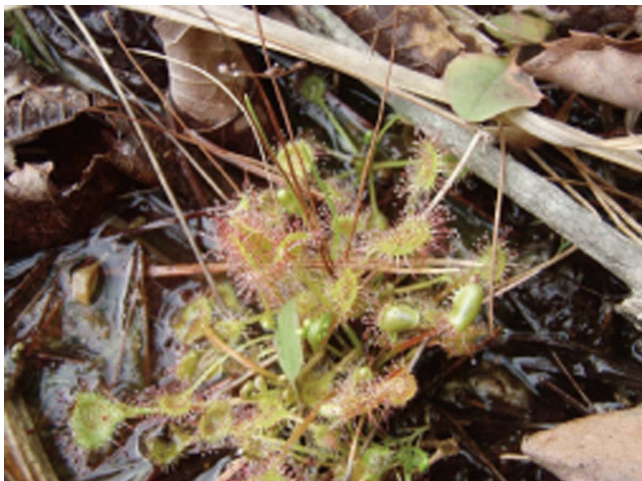
枝先に直径4～8cmの赤色の花が咲きます。

実は球形で直径4～5cm、皮は厚く、9～11月に熟すと割れ、数個の種子を出します。この種子からとれるのが椿（つばき）油です。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													常緑広葉樹林、神社

モウセンゴケ *Drosera rotundifolia*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱モウセンゴケ科

■ 生活型

多年生草本

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは5～15cm。

小型の食虫植物です。葉は地面から放射状に伸び、ねばついた長い毛が生えています。葉に小型の虫がとまると、この毛がからめとり、そのまま消化します。

名前は、毛が密についた毛氈（もうせん）状の葉をもち、コケのような小さな植物という特徴からつけられました。

生 育 場 所

水気が多い岩場など、湿り気のある環境にまれに生育します。

弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

花期は6～7月。

細い茎の先に十数個の白色の花がつきます。花は午前中に開き、午後には閉じます。

実は長方形で、熟すと細かい種子を散らします。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													湿った岩上

ウツギ *Deutzia crenata*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱ユキノシタ科

■ 生活型

落葉広葉低木

■ 重要種指定

指定なし

特徴

高さは1～3m。

樹皮は茶色～灰色で、葉は細長く、両面に小さな毛があり、ざらついています。

茎の中心に穴が開いているため空木（うつぎ）と呼ばれます。また、花は卯月（旧暦の4月、現在の4月下旬～6月上旬ごろ）に咲くので、「卯の花」の別名でも親しまれています。

日本の歌百選に選ばれている「夏は来ぬ」で、「卯の花の匂う垣根に」と歌われていますが、この「匂う（におう）」は「輝く」という意味の古語で、ウツギの花に香りはありません。

生育場所

山野の日当たりのよい林縁や川岸に普通に生育します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁殖

花期は5月。

白い花が枝先に房のようにつき、下を向いて咲きます。

実は10～11月に熟すと割れ、中の小さなタネは風によって散らばります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													日当たりのよい林縁や川岸

ナメラダイモンジソウ

Saxifraga fortunei var. *suwoensis*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱ユキノシタ科

■ 生活型

多年生草本

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは5～10cm。

葉は長さ2～5cmで、手の形に大きく裂け、縁は細かくきざぎざになっています。また、表面に粗い毛が生えます。弥栄湖のものは特に小型で、高さ2cmくらいで花をつけます。

名前は、花の形が漢字の「大」の字に似ていること、山口県滑山（なめらやま）で発見された変種であることから名がつけられました。

生 育 場 所

山地の溪流沿いなど、絶えず湿っている岩盤上に生育します。

弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

花期は10～11月。

茎の上部にまばらに白色の花をつけます。花びらは5枚です。

実は卵形で、中に小さなタネを多数つくります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													絶えず湿っている岩盤上

ビロードイチゴ *Rubus corchorifolius*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱バラ科
- **生活型**
落葉広葉低木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは1～3m。
葉は長い卵形で、浅く3つに裂けるものもあります。葉の両面には毛があり、裏面の葉脈にはトゲが生えています。
葉に生えた毛の感触がビロード状なので「ビロード」イチゴと名がつけられました。

生 育 場 所

山地の林縁、山道の道端などに生育します。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は4月。
花は直径1.5～2.0cm。白い花が下向きにつきます。ややしわの入った、長さ10mmほどの花びらが特徴的です。
実は5月から6月にかけて黄色がかった紅色に熟します。1cmくらいの大きさに甘味があり、食べられます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山地の林縁、山道の道端

ネムノキ *Albizia julibrissin*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱マメ科
- **生活型**
落葉広葉高木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは10～20m。
幹の直径は約20cm。途中まで枝分かれせず、上部で水平に枝を広げます。葉は軸をはさんで左右にだ円形の小さな葉を多数（15～30枚）つけます。
夜間には葉が重なって閉じることが、「眠（ねむ）の木」の由来です。

生 育 場 所

河川周辺の林に多く、明るい環境に生育します。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

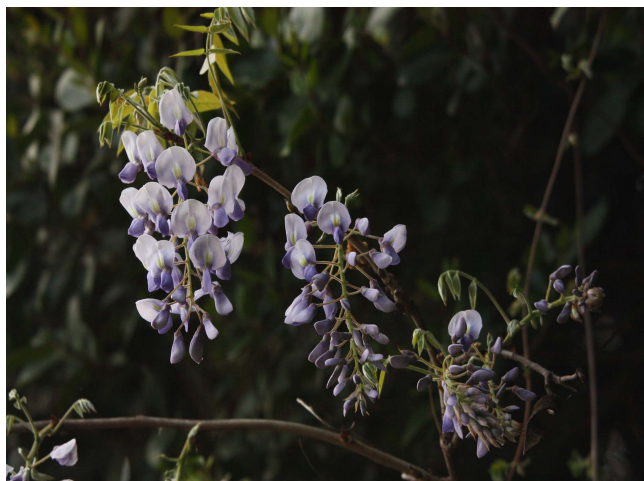
繁 殖

花期は7月。
枝の先に淡い紅色の花が十数個集まって咲きます。花びらはほとんど見えず、長く伸びた紅色のおしべが美しく、よく目立ちます。
実は豆さやの形をしており、中に10～15個のタネをつくります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													河畔林、二次林

ヤマフジ *Wisteria brachybotrys*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱マメ科
- **生活型**
落葉つる性木本
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

つる植物で、他の木に巻きついて生育しています。葉は長さ4～7cmの長いだ円形で、裏面に毛が生えます。茎にも毛があります。
よく似た種にフジがありますが、他の木に巻きつく際、フジは真上から見て時計回りに、ヤマフジは真上から見て反時計回りに巻きつきます。

生 育 場 所

雑木林の林縁や明るい林内に生育します。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

花期は5月。
花は濃い紫色で、一斉に咲きます。
実は豆さやの形をしており、10～12月に熟して乾燥すると2つに裂け、その勢いでタネを飛ばします。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													雑木林の林縁や明るい林内

アカメガシワ *Mallotus japonicus*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱トウダイグサ科

■ 生活型

落葉広葉小高木

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは3～15m。

樹皮は灰色で、浅い縦の割れ目が網目状にできます。葉はハート型で、葉と枝の間（葉柄）に赤みを帯びるのが特徴です。

新芽が赤いこと、葉がカシワの葉に似て大きくなることから名がつけられました。

生 育 場 所

林縁や道端の土手、川岸などに多く生育します。荒れた土地や伐採跡地でもいち早く入り込んで成長します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は7月。

雄木（おぎ）と雌木（めぎ）に分かれます。雄木につく雄花（おばな）は黄色く長い穂になり、雌木につく雌花（めばな）は短い穂で目立ちません。

9～10月に果実が熟して割れ、黒いタネをつくります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													林縁や土手、川岸、伐採跡

ヌルデ *Rhus javanica* var. *chinensis*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱ウルシ科

■ 生活型

落葉広葉小高木

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは2～10m。

樹皮は白っぽい灰色で、葉の縁には粗いギザギザの切れ込みがあり、裏面は軟かい毛が生えています。10月ごろになると美しく紅葉します。

ウルシ科ですが、かぶれる成分は含まれていません。しかし、ウルシと勘違いして、精神的なショックからアレルギー反応をおこす人もまれにはあるようです。

葉にできた虫こぶ（寄生した虫が出す刺激に反応し、植物の一部が異常成長してできるもの）を五倍子（ごばいし）と呼んで、革なめしや染色のために使用するタンニンの原料として利用されました。

名前は、幹を傷つけると出る白い樹液を器などの塗り物に使ったことに由来します。

生 育 場 所

山地の林縁や道端などに多く生育します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は9月。

雄木（おぎ）と雌木（めぎ）に分かれます。雄木は枝の先に黄色がかった白色の小さな花を多数つけます。雌木は赤みのある目立たない花をつけます。

実は淡い緑色の球形で、秋になると塩の一種を分泌し、白く覆われます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山野の林縁、道路の法面、伐採跡

ウリカエデ *Acer crataegifolium*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱カエデ科
- **生活型**
落葉広葉小高木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは3～5m。
樹皮は青緑色で、縦に濃い緑色の筋が入ります。葉は、長さ4～8cmの卵形で、浅く3つに裂けています。縁にはギザギザの切れ込みがあります。10月ごろになると美しく紅葉します。
名前は、樹皮が瓜（ウリ）の実の色に似ることに由来します。

生 育 場 所

山地や丘陵の林内、林縁に生育しますが、あまり多くありません。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は4月。
枝先の葉の間から花の茎を出し、淡い黄色の花が垂れ下がって咲きます。
実には翼（よく）があり、赤く熟します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													やや乾いた尾根や丘陵の林内

イヌツゲ *Ilex crenata*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱モチノキ科

■ 生活型

常緑広葉低木

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは1～3m。

樹皮は黒ずんだ緑色で、縦に浅い割れ目が入ります。厚みとつやのある葉は長さ1～3cmと小さく、縁には丸みのある切れ込みがあります。

ツゲの材は硬く用途が多いのにくらべて、本種は役に立たないから、という意味で「否（いぬ）」ツゲと名がつけられました。ただし庭木や盆栽などにはよく利用されています。

生 育 場 所

山地の林内から林縁に生育します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は6月。

雄木（おぎ）と雌木（めぎ）に分かれますが、花はどちらもよく似ており、径5～7mmほどと小さく、黄色みがかった白色です。

実は5mmほどの球形で10～11月に黒く熟します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山地の林内や林縁、湿り気のある環境

ノブドウ *Ampelopsis glandulosa* var. *heterophylla*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱ブドウ科

■ 生活型

落葉つる性木本

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

巻きひげで他の植物に絡みつくツル植物です。茎は赤みを帯びた茶色で、古くなると木のように硬くなります。葉は先が3～5つに分かれますが、深く切れ込む場合もあります。葉の表は濃い緑色、裏は淡い緑色で、短い毛があります。名前は、山野に生育するブドウであることに由来します。

生 育 場 所

山地の林縁や荒地に生育します。弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は7～8月。淡い緑色で直径約3mmの小さな花が多数つきます。開花してもすぐに花が落ちます。実は球形で、淡い緑色から紫色、紺色に変化します。味が悪く食べられませんが、鳥はこの実を食べます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山野の林縁や荒地

ガンピ *Diplomorpha sikokiana*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱離弁花亜綱ジンシヨウゲ科
- **生活型**
落葉広葉低木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さ1～2m。
葉は卵形で、両面に毛があります。大きく成長した木の樹皮はサクラの木に似ます。
枝や茎の繊維が強く、刃物がないと折り取ることは困難です。この強い繊維は、雁皮紙（がんぴし）という高級和紙の原料として利用されます。

生 育 場 所

日当たりがよく乾燥した岩山の林内や林縁に生育します。あまり多くない種ですが、弥栄ダムの周辺ではかなり多く、この地域に特徴的な植物です。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

花期は6月。
枝の先端に淡い黄色の花が集まって開きます。種子はごく小さく、風で散布されます。地下の根が伸びて新しい株をつくることもあります。群生することはありません。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													日当たりがよく乾燥した岩山の林内や林縁

リョウブ *Clethra barbinervis*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱リョウブ科

■ 生活型

落葉広葉高木

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは5～20m。

樹皮はなめらかで、皮は薄くはがれ落ち、きれいな模様を作り出します。枝先に集まってつく葉には鋭いギザギザの切れ込みがあります。

昔、飢饉（ききん）に備えて若葉を食料にするため、官令によりタネの配布や植樹をおこなったことから、「令法（りょうぶ）」の名がつけられました。

生 育 場 所

山地の尾根など、乾いた場所に多く生育します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は7月。

枝先から10～20cmほどのびた白い花を多数つけます。蜜の量が多く、昆虫がよく訪れます。

実は熟すと裂けて、平らなタネを多数落とします。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													尾根や斜面などの乾いた場所

ギンリョウソウ *Monotropastrum humile*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱イチヤクソウ科（ツツジ科とする見解もある）

■ 生活型

多年生草本

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは8～15cm。

全体が白色で葉緑素をもたない植物です。光合成はおこなわず、地下にある根に共生する菌類がつくりだす養分を吸収して成長します。このような植物を腐生植物（ふせいしょくぶつ）といいます。

名前は、銀色の竜が首をもちあげた姿に例えて「銀竜草（ギンリョウソウ）」とつけられました。

生 育 場 所

樹林内の、落ち葉が厚く積もって湿ったところに生育します。

弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

花期は4月。

花は地下から伸びた茎の先に1個、下向きにつきます。全体が透けた白色です。花が咲く時期以外にはその姿を見ることができません。

実は夏に熟し、茎が倒れるとつぶれて極めて小さなタネを落とします。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-

ネジキ *Lyonia ovalifolia* var. *elliptica*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱ツツジ科

■ 生活型

落葉広葉小高木

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは2～5m。

樹皮は灰色からうす茶色で、はげやすく、縦にねじれたような「ひだ」がみられます。葉は卵形で、先は鋭くとがり、両面には柔らかい毛が生えています。

成長すると幹がねじれ、それが名前の由来にもなっています。

生 育 場 所

山地の尾根や斜面など、やや乾いた場所に生育します。

弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は6月。

透明感のある白いつぼ型の花が下を向きに一列に並びます。

実は茶色の球形で、熟すと裂けて開き、中から小さなタネを落とします。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山野の尾根など乾いた場所

アセビ *Pieris japonica*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱ツツジ科
- **生活型**
常緑広葉低木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは1～3m。
樹皮は灰色で、よく枝分かれます。葉は長さ3～8cm、幅1～2cmで、先はとがり、縁には細かいギザギザの切れ込みがあります。表面は濃い緑色で光沢があります。
有毒で、昔は葉を煎じて殺虫剤として利用していました。

生 育 場 所

山地の明るい林、アカマツ林などに多く生育します。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

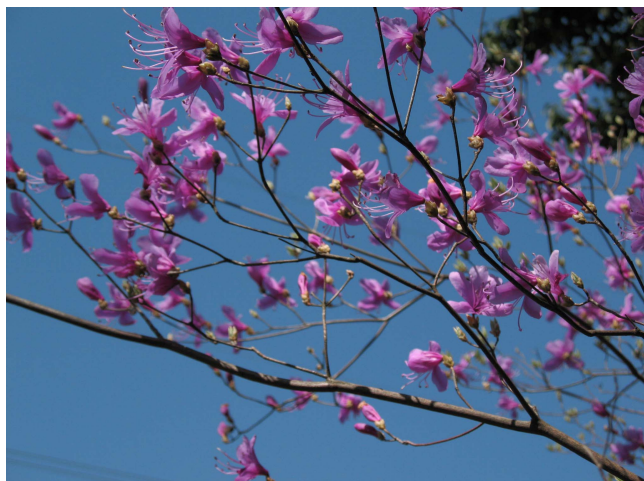
繁 殖

花期は12月～5月。個体により差があります
枝先に長さ6～8mmの小さなつぼ型の花が下向きに多数咲きます。
実は茶色の球形で、花とは反対に上向きにつきます。9～10月に熟し、小さなタネをつくります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山地の明るい林

コバノミツバツツジ *Rhododendron reticulatum*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱ツツジ科
- **生活型**
落葉広葉低木
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは1～3m。
赤みがかった茶色の樹皮で、枝先に小さな3枚の葉がつきます。葉の形はひし形にちかく、裏面には毛が生え、はっきりとした網目模様の葉脈があります。
名前は、近縁種のミツバツツジよりも葉が小型であることによります。

生 育 場 所

特にアカマツ林などの二次林の尾根筋に多く生育します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

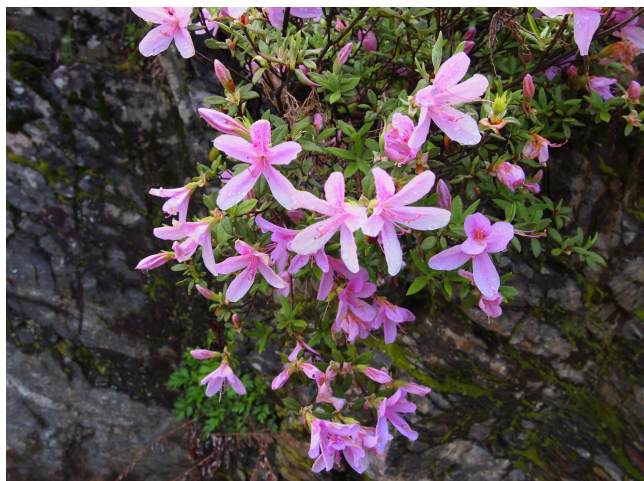
繁 殖

花期は4月。
開花期は早く、葉が出る前にあざやかな赤紫色の花が咲きます。
実は円筒形で、秋に茶色の細かいタネを多くつくります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													二次林の乾燥した日当たりのよい尾根や斜面

キシツツジ *Rhododendron ripense*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱ツツジ科

■ 生活型

半常緑広葉低木

■ 重要種指定

要注意種(広島)

特 徴

高さは0.5～1m。2mに達することもあります。

幹から枝を細かく分け、広く伸ばします。葉は、春に出る春葉と夏に出る夏葉があり、夏葉で越冬します。春葉は長いだ円形で、長さ2～5cm。先は鋭くとがり、葉の両面に毛があります。夏葉は春葉よりやや小さく、狭い幅です。

名前は、川岸によく生育することから、「岸ツツジ」とつけられました。

生 育 場 所

大きな河川の中流から上流部にかけて、少し増水すると水につかるような岩場に生育します。弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川の水辺で見られます。

繁 殖

花期は4月下旬～5月上旬。

直径4～5cm、長さ15～20mmのたいへん美しい赤紫色の花が咲きます。

実は、長さ8～10mmの卵形で、茶色の長い毛が生えています。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期					■								-
葉のある時期													川岸で、増水時に水につかるような岩場

バイカツツジ *Rhododendron semibarbatum*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱ツツジ科

■ 生活型

落葉広葉低木

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さ1～2m。

葉は卵型で、上面にしわがあり、縁には細かい切れ込みがあります。

花がウメの花とよく似ていることから、「バイカ（梅花）」ツツジの名がついたといわれています。

生 育 場 所

やや日陰の林内や林縁に生育します。あまり多くない種ですが、弥栄ダムの周辺では多く、梅雨のころに美しい花が開花する、この地域に特徴的な植物です。

弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

花期は6月。

一般にツツジ属の花は、その年に新しくでた葉（新葉）の上で開花しますが、本種は新葉の下に花をつけるのが特徴です。花は白色で、直径1～1.5cmと小型です。

種子はごく小さく、風で散布されます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													やや日陰の林内や林縁

エゴノキ *Styrax japonica*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱エゴノキ科

■ 生活型

落葉広葉小高木

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは3～10m。

樹皮は平滑で、赤褐色から黒褐色です。葉はひし型で、不規則なギザギザの切れ込みがあります。名前は、果実の皮を口にするとうぐい（えごい）ことに由来します。この皮はすりつぶすと泡立つため、石けんの代わりとして使用されていました。

生 育 場 所

丘陵地から山地の斜面や溪谷に沿って生育します。

弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は6月。

枝の先に白い花が下向きに房状につきます。

実は卵形で、秋に熟して割れ、茶色のタネを落とします。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山地の斜面や溪流沿い

ヘクソカズラ *Paederia scandens*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱アカネ科

■ 生活型

落葉つる性木本

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

他の木や草などにかからまって伸びるツル植物です。一見、草本のように見えますが、大きくなると直径5cmにもなる木本です。葉の大きさは、長さ4～10cm、幅は1～7cmで、長いハート型をしています。葉の表面には粗い毛が生えています。名前は、葉や茎をつんだときに出る悪臭に由来します。

生 育 場 所

日当たりのよい荒れ地、やぶ、林縁、人家の周辺などに生育します。弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は6～9月。釣りがねの形をした小さい赤紫色の花がつけます。実は球形で、熟すと光沢のあるうす茶色になります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													日当たりのよい荒れ地、林縁など

イワタバコ *Conandron ramondiioides*



■ 分類

被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱イワタバコ科

■ 生活型

多年生草本

■ 重要種指定

指定なし

特 徴

高さは5～15cm。

茎が極めて短いので、岩上から葉が生えているようにみえます。垂れ下がった大きな葉はだ円形で、葉脈がややへこんでいます。表面には光沢があり、縁には不ぞろいの切れ込みがあります。冬になると、葉が小さく固まり、縮れた状態で越冬します。

葉がタバコの葉に似ていて、岩場に生えるので、「岩煙草（イワタバコ）」と名づけられました。

生 育 場 所

山地の溪流沿いにある日陰の湿った岩壁に生育しますが、あまり多くありません。

弥栄ダム周辺では、弥栄湖の周辺で見られます。

繁 殖

花期は8月。

星形をした10～15mmの紫色の花が数輪つきます。中央にめしべがあり、周りに薄茶色のおしべが5本あります。

実は細長く、熟すと二つに割れます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山地溪流の湿った岩壁

ヨモギ *Artemisia indica* var. *maximowiczii*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱キク科
- **生活型**
多年生草本
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは30～100cm。
葉は長さ6～10cm、幅4～6cmで深く裂けています。葉の表面は緑色、裏面は白みのある灰色で、毛が生えています。地下茎を地中に長く伸ばしています。
古くから人間の生活とのかかわりが深く、よもぎ団子や餅などとしての食用や薬用に利用されています。

生 育 場 所

河川敷や土手、野原、山谷、道端などに生育します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

花期は9～10月。
幅1.5mm、長さ3.5mmほどの小さな紫色の花を咲かせますが、一見すると咲いたとは思えないほど目立ちません。
地下茎を伸ばすことで増えますが、種子からも繁殖します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													河川敷、野原、道端

ヒメジョオン *Stenactis annuus*



- **分類**
被子植物門双子葉植物綱合弁花亜綱キク科
- **生活型**
一年生草本
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは30～100cm。
北アメリカ原産の帰化植物です。縁に切れ込みのある葉を地面に広げますが、茎が高く伸びると葉はなくなります。茎と葉には全体にやや粗い毛があり、ざらついています。
日本へは明治時代ごろ海外から入ってきました。当時は柳葉姫菊（やなぎばひめぎく）とよばれ珍重されていましたが、繁殖能力が非常に高く、在来種の生育にも影響を及ぼしていることから、外来生物法で「要注意外来生物」に指定されています。

生 育 場 所

堤防の法面や畑地、道ばたなど様々なところに生育します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

花期は6～10月。
花は枝分かれした茎の先に多数つきます。ヒマワリのような形をしていて、中央が黄色く、周りに白く細い花びらがあります。
実は白い毛をもち、風で散布されます。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													畑地、道端

ショウジョウバカマ *Heloniopsis orientalis*



- **分類**
被子植物門単子葉植物綱ユリ科
- **生活型**
常緑多年生草本
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

葉の高さは5～20cm程度まで。花茎は30cmくらいまで伸びます。
先のとがったやや細長い葉が地面から放射状に重なりあって伸びます。
名前は、花が赤いのを「猩々（しょうじょう：中国の伝説上の動物）」の赤ら顔にたとえ、葉の重なりが「袴（はかま）」に似ていることに由来するとされています。

生 育 場 所

山地のやや湿った林縁や道端に生育します。
弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は4月。
地表からやや太い茎を伸ばして、その先端に数輪の赤紫色の花をつけます。花は直径1cm程度で、下向きにひらきます。
花が散った後、花茎は30cmほどに伸び、高い位置からタネをまき散らします。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山地のやや湿った林縁や道端

サルトリイバラ *Smilax china*



- **分類**
被子植物門単子葉植物綱ユリ科
- **生活型**
半常緑つる性木本
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

他の植物に絡みつくツル植物です。節ごとに曲がる固い茎には、バラのように丈夫なトゲがついています。葉は円形で厚く光沢があります。西日本では餅を包む葉として使用されます。名前は、茎のトゲによくサルがひっかかるという連想から、「猿捕茨（サルトリイバラ）」とつけられました。

生 育 場 所

山地の林縁や林内に生育します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

花期は4月。
雄株（おかぶ）と雌株（めかぶ）に分かれますが、花はどちらもよく似ており、淡い黄色の花を多数つけます。花びらは6枚で、先が反りかえっています。
実は小さな球形で、10～11月に赤く熟します。タネは1～6個つくります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													山地の林縁や林内

キショウブ *Iris pseudacorus*



- **分類**
被子植物門単子葉植物綱アヤメ科
- **生活型**
多年生草本
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは1～1.5m。

ヨーロッパ原産の帰化植物です。葉は長さ50～80cm、幅1～2cm。剣のように細長く、二列に並び、盛り上がった中央の縦筋が目立ちます。葉は根本から重なって生えます。

繁殖能力が高く、在来種の生育にも影響を及ぼしているとされていることから、外来生物法で「要注意外来生物」に指定されています。

生 育 場 所

河川や池沼の水辺。乾燥にも強く、ときには畑などにも集団で生育します。

弥栄ダム周辺では、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川で見られます。

繁 殖

花期は5～6月。

茎の上部に2～3個ずつ黄色の花をつけます。外側にある大きな花びらの中央に茶色の模様があります。

実は8～9月頃成熟し、やがて先端が3つに裂けて多くのタネをまき散らします。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													水辺など

ススキ *Miscanthus sinensis*



- **分類**
被子植物門単子葉植物綱イネ科
- **生活型**
多年生草本
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは1～2m。
根元から複数の固い茎が伸びます。葉は細長く、長さ50～80cm、幅1～2cm。中央に白い筋があります。縁には鋭いトゲがあって堅いため、触れると手を切ることもあります。
日本の草原植物の代表種で、秋の七草の一つに数えられています。十五夜の月見に飾る風習は全国で見られます。

生 育 場 所

日当たりのよい乾燥したところに生育します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

花期は8月中旬～10月。
茎の先端に赤みのある穂をつけます。穂の先から細長い芒（のぎ）が伸び、カギのように曲がっていることが特徴です。
タネには白い毛が生えていて、風によって散らばります。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													日当たりのよい乾燥したところ

ツルヨシ *Phragmites japonica*



- **分類**
被子植物門単子葉植物綱イネ科
- **生活型**
多年生草本
- **重要種指定**
指定なし

特 徴

高さは1～2m。
ヨシとは異なり、地表をはうように伸びる茎があります。葉は長さ10～30cm、幅2～3cm、固くて縁はざらつきます。茎の節には長く白い毛が生えています。
名前は「ツルのように茎が伸びて生えるヨシ」という意味です。

生 育 場 所

河川の中流域から上流域の砂れき河原に多く生育します。
弥栄ダム周辺では、ダム下流の小瀬川、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川、長谷川など広い範囲で見られます。

繁 殖

花期は8～10月。
茎の先に紫色の穂をつけます。
地上をはう枝の節からひげのような白い根を出して繁殖します。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													河岸の砂れき地

ノスゲ *Carex tashiroana*



- **分類**
被子植物門単子葉植物綱カヤツリグサ科
- **生活型**
多年生草本
- **重要種指定**
絶滅危惧Ⅱ類【環境省】
絶滅危惧Ⅱ類【広島】
絶滅危惧Ⅱ類【山口】

特 徴

高さは20～30cm。

幅1.5～2mm程度の細い葉が株立ちとなって生育しています。

昭和2年（1927）に田代善太郎氏によって、広島県栗谷村（現在の大竹市栗谷）で発見され、京都帝国大学（現在の京都大学）の大井次三郎博士により、昭和5年（1930）に新種として発表されました。

現在、広島、山口県境の小瀬川流域と広島県東部の2ヶ所でしか生育が確認されておらず、貴重なスゲ属の一種となっています。

生 育 場 所

歩道脇や林縁に株立ちとなって生育します。

弥栄ダム周辺では、弥栄湖およびその周辺、弥栄湖上流の小瀬川で見られます。

繁 殖

花期は4～5月。

細く目立たない穂に、黄色みを帯びた長さ約2mm程度の実をまばらにつけます。

実が脱落して散布されます。株が分かれることもありますが、地下茎が無いので群生することはありません。

生活サイクル

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	場所
花期													-
葉のある時期													歩道脇や林縁の、やや日陰で湿り過ぎないところ